



財政事情に関する公表書

豊能町の令和2年度・令和3年度予算における財政事情は、次のとおりです。

令和3年8月1日

豊能町長 塩川 恒 敏



我が国の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きも続いているものの、一部で弱さが増している。

先行きについては、感染拡大の防止策を講じ、ワクチン接種を促進するなかで、各種施策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される、ただし、感染の動向が内外経済に与える影響に十分注意する必要があります。

本町では、人口の減少や高齢化による影響で、主要な自主財源である町税の減少傾向が続いており、依然として歳入の50%以上を地方交付税などの依存財源に頼る状況が続いています。

一方で、人口急増期に建築した建物やインフラが、一斉に更新時期を迎えるなど、歳出面でも今後の財政負担が増加する傾向にあり、歳入の不足を基金の取り崩しに頼らざるを得ない状況が続いています。

このように厳しい財政状況ではありますが、令和元年度に「豊能町行財政改革プラン2019」を策定し、事務事業の廃止・縮小、類似する事業の統合を図ることや、施設の再編・統合などの公共施設の今後のあり方についても検討し、施設の合理化を図ることにより、基金の取り崩しに頼らない健全な財政運営を目指します。

令和2年度の一般会計決算見込みは、歳入総額につきましては91億8,903万9千円で、対前年度20億335万2千円、27.9%の増、歳出総額につきましては89億84万2千円で、対前年度18億5,624万円、26.3%の増となっております。形式収支につきましては、2億8,819万7千円の黒字となっております。実質収支につきましては、令和3年度に繰越すべき額である1億9万円を差し引き、1億8,810万7千円の黒字となっております。

また、令和3年6月末現在における令和3年度の一般会計の予算額は、繰越財源を含み79億387万4千円で、前年度同期と比較して12億65万4千円、13.2%の減となっています。6月末現在での収入済額は、24億2,571万6千円で、前年度同期と比較して16億9,783万2千円、41.2%の減、支出済額は、11億1,630万7千円で前年度同期と比較して18億2,046万2千円、62.0%の減となっています。

令和3年度は、特別定額給付金を始めとした、新型コロナウイルス感染対策に係る経費の減により、歳入、歳出ともに大幅な減額となっています。

その他の詳細については、別添のとおりです。